

伊賀屋

第 8 号
発行 株式会社伊賀屋
営業部

新型コロナウイルス 指定感染症認定

二月一日、厚生労働省の発表により新型コロナウイルスが指定感染症に指定された。この指定により、新型コロナウイルスに感染した患者様が使用した寝具・リネン・患者衣等は、未消毒状態で洗濯物の受け入れが出来なくなった。指定感染症の患者様が使用された寝具・リネン・患者衣等の未消毒状態での洗濯物の受け入れは、厚生省健康政策局指導課長通知により禁止されている。廃棄処理と洗滌処理とは異なる為、洗滌に依頼する際には必ず次の院内処理を実施して頂いた上で、弊社に依頼して頂きたい。

新型コロナウイルス 対応について

① 熱水消毒 八十度以上・十分以上浸漬

② 五百から千PPMの次亜塩素酸ナトリウム溶液に三十分間浸漬後、水洗い

* 一次消毒を実施する為に病室から運び出す場合はビニル袋で二重に密閉し、外側を五百PPMの次亜塩素酸ナトリウムで清拭する

以上の消毒を実施済みの被洗物は、袋内の空気をなるべく抜き、二重に密閉して外側を五百PPMの次亜塩素酸ナトリウムで清拭して、消毒済み・病院名又は施設名・新型コロナウイルスと明記の上、返却して頂きたい。

新規設備紹介

大型乾燥機の負荷量の変更

ここで、弊社洗濯工場の新規設備を二つ紹介したい。先ず一つ目は乾燥機だ。今までは、一度に百kgの負荷量に耐える事が出来る乾燥機を三台使用していたが、連続式洗濯機の負荷

量は五十kgしか無かった為、負荷量に無駄が生じていた。そこで新しく負荷量が六十kgの乾燥機を四台に入れ替えた。結果、乾燥効率の向上が達成された。つまり乾燥待機の削減と品質の更なる向上が同時に達成されたのである。

担当営業へ連絡を

現在、指定感染症病院ではなくとも、比較的軽症な新型コロナウイルス感染症を受け入れる準備を進めている病院様や宿泊施設も多くあると聞いている。厚労省と管轄の上部団体より、未消毒の寝具類が発表された。これはあくまでも全国的な、中立的な話であって、多数の感染者を抱えている地域、関東地方ではリスクが大き過ぎると言わざるを得ない。感染者の疑い者による弊社サービス品使用によって委託先の二次汚染が確認された場合、感染源の遡り調査が発生してしまう。そうなる前にお客様にもご迷惑をお掛けしてしまわないよう、配送ドライバーや洗濯工場スタッフの二次感、配送リスクをご理解頂き、先ずは担当営業にご相談頂きたい。



フリーサイズ・マネキンの導入

二つ目は、患者衣等を畳む際に製品をセッティングするマネキンと呼ばれる物だ。以前は、例えば大・中・小といったサイズ指定があり、予めサイズ毎に仕分けされた患者衣をそれぞれサイズの指定に合わせて切り替えて畳む結果、事前の仕分け作業に費やされていた時間と労力が削減された。作業効率が向上しただけでなく、患者衣の畳みかたが正しい時に枕カバー等の別製品を畳む余力も産まれた。弊社洗濯工場内のムリ・ムダ・ムラを削減させる為の設備投資だが、現在の価格帯を維持させたい。より高品質な製品をお客様へ提供出来る様、これからも挑戦を続けていきたい。

編集後記

お客様にもっと伊賀屋の事を知って頂く為に始めたこの企画、より伊賀屋を身近に感じて頂けたら幸いです。全てはお客様の為に、伊賀屋はこんな努力をしています！という事をどんどん紹介していきたいと思っておりますので、お時間のある時にご一読ください。営業ワンチームとなって頑張ってください！



伊賀屋からの知らせ

洗濯物分別・分類のお願い

『製品の納品遅れ』でご迷惑をお掛けしてませんか？？

- ・リネンバッグ（注）の中に他の製品が混入していると、製品の紛失や納期遅れの原因となってしまいます
 - ・仕分する設備が無い、仕分するスペースが無い等、お困りの施設様は弊社営業にご相談ください
 - ・施設様に良いアイデアがございましたら、弊社営業にお申し付けください
- （注）洗濯物回収袋として使用している、コの字型のラックに掛けている、主に青色の袋の事です



リネンサプライ リース品、返却のお願い

リネンサプライ『リース品は弊社の資材』です

- ・汚れ、破れ等で明らかに製品にならないと思った場合でも、弊社に返却をお願い致します
- ・製品基準を満たさない製品は工場にて数をカウントして除却しております
- ・その除却数を製品補充の目安としております



不明品お預かりしてます

施設様で無くなっている『モノ』はございませんか？？

- ・リネンバッグの中に施設様の備品・利用者様の私物、様々な混入品を確認しております
- ・『施設様の名前』が記入してあると返却出来ます
- ・体交枕やベッドパッド、シーツといった私物品が多いです
- ・弊社では不明品をお預かりしてから1ヶ月間保管しております

